



ご挨拶

12月1日の「報道ステーション」(テレビ朝日)によりますと、温暖化に伴い地球に異変が起きていて、
 ① シリアは、かつて肥沃な農地であったが、今は砂漠化して人が住めない地になり、水不足や貧困を招き、テロや紛争の土壤になっている。その結果、多くの難民を生む要因になっている。
 ② 南太平洋のキリ島では温暖化で海面水位が上り、やがて島は水没してしまうので、米国へ「環境難民」として移住するかどうかの選挙をしている。島民は、以前ビキニ島に住んでいたが、米国の核実験の為に、キリ島へ移住してきた「核難民」でもある。
 日本でも、豪雨の被害が、年々ひどくなるようで心配ですね。我々一人一人が、エコを心がけ行動しましょう。末筆になりましたが、来年も校友の皆様にとって、平穏で、心豊かな年になりますようお祈り申し上げます。

群馬県支部 支部長 中山捷介

《追伸》12月5日行われた試合に勝利し、同志社ラグビーは8年ぶりに関西制覇を果たしました。
 校友としても大変嬉しい限りです。大学選手権で大学日本一を目指している、同志社ラグビーを応援しましょう。

27年度支部総会

2015年8月30日に行われた同志社創立140周年記念行事の「同志社フェア in 安中」に先立って、新島学園フィリアホール3階石田記念ホールにて、午前11時より「平成27年度校友会群馬県支部総会」を開催しました。

校友会本部副会長の中村氏や近隣県の支部長8名の来賓と、群馬県支部の校友38名が参加し、内田幹事の司会で始まり、中山支部長と中村副会長の挨拶に続いて、中山支部長からの行事報告、山崎会計幹事からの会計報告および松本監査役からの会計監査報告があり、総会は無事に終了しました。



同志社フェア in 安中

同志社創立140周年を記念に、校祖 新島襄が米国より帰国して第一声を放った、群馬県安中市の新島学園礼拝堂で、午後2時30分から「同志社フェア in 安中」が開かれました。

地域住民との交流を図るイベントでしたが、小雨の降る悪条件にも関わらず、遠く北海道から九州の校友、近隣の校友および地域の人々を合わせて約700名が集まり、会場は満員状態でした。

安中市長の茂木英子氏、新島学園校長の岩間秀彬氏そして村田学長の開会挨拶の後、「バック・ツウ・ザ・フューチャー2015」と題する学長講演がありました。

続いてのコンサートでは、同志社グリークラブと新島学園聖歌隊による両校の校歌合唱がありました。最後に、全員で迫力ある「ハレルヤコーラス」の響きに、参加者は感動の面持ちでした。

交流イベント終了後に約270名の卒業生、グリークラブの学生達および関係者が並木苑に移動し、午後5時30分から「交流レセプション」を開催しました。

最初に湯浅新島学園理事長の挨拶、中山群馬県支部長の乾杯により、宴が満を持して始まり、県外の遠方からの出席者も多数いるということで、群馬名産のこんにゃくやネギなどでアレンジした料理に、参加者一同は舌鼓を打ちました。

翌日の8月31日には安中の新島襄にゆかりのある名所めぐりを行いました。当初予想の参加者を大幅に上回る約120名の参加者を得て、涼しい天気の中無事に行われました。

プロのガイド3名による3班編成の色分けをし、新島旧宅・龍昌寺・湯浅治郎の便覧舎・有田屋・妙光院・安中藩武家屋敷・安中教会の順で回り、予定通り午前中で終了しました。



春の集い

2015年3月7日(土)、29名の有志の校友会・同窓会会員が、高崎マリエールにて、恒例の『春の集い』を開催しました。

第1部として、角田幹事の紹介でピアニストの保坂修平氏とオーケラウロ奏者の岸敏郎氏の演奏会を行いました。オーケラウロとはホテルオークラの創業者である大倉喜七郎男爵(1882~1963)が作った金属製の多孔尺八であり、大倉の姓と古代ギリシャの豎笛のアウロスから名付けられたものだそうで、見た目はフルートを一回り大きくした感じで、音色は尺八をベースにした広い音階を有しています。「ピアノとオーケラウロの共演や独奏」が全部で8曲演奏され、全員で聴き入る演奏会でした。

第2部として懇親会を行いました。中山支部長の開会挨拶の後、新島学園から湯浅副理事長と岩間中学・高校校長の来賓紹介を行い、代表して湯浅副理事長のご挨拶の後、加辺副支部長の乾杯音頭で会は和やかにスタートしました。

閉会の挨拶を、同窓会の豊泉支部長にして頂いた後で、現役の大学生の平野さんの音頭でカレッジソングと同志社チアを全員で合唱して終了となりました。

来年もまた、全員元気に顔を合わせる約束をして帰路につきました。





新島研究会「大磯」紀行

今年の研究会旅行は、新島先生が永眠して125周年にあたり、先生の遺徳を偲び6月17・18日の一泊二日で「大磯」の地に足を運びました。同窓会メンバーを含め10名の参加でした。

初日は新島先生終焉の地、大磯「百足屋旅館跡」を訪ね、東海道線で駆け付けた八重に対する最期の言葉「狼狽するなかれ、グッドバイ、また会わん」に思いを寄せました。

その後、「二宮」に行き、徳富蘇峰の晩年の秘書を務めた塩崎彦一が、蘇峰の13回忌にあたる昭和44年に自分の敷地に建設した「徳富蘇峰記念館」を見学し、蘇峰の人脈の広さに認識を新たにしました。宿は金目鯛で有名な「伊豆稲取」で新鮮な魚介類を堪能しながら会の親睦を深めました。

翌日は、「下田」に行き、遊覧バスで「玉泉寺」「下田開国博物館」等「幕末歴史跡」を散策し、帰路につきました。



平成卒交流会

2015年6月20日(土)、20名の校友会会員有志が集まり、第1回『平成卒交流会』を開催しました。

この交流会は、群馬県支部開催の総会・春の集いなどの様々なイベントへの、若手会員の参加促進の目的で今回初めて開催しました。

初めは、参加者全員が緊張していましたが、中山支部長の挨拶・乾杯、3回の席替え、参加者の自己紹介、入江幹事長の締めの挨拶により、最後には、和気あいあいと学生時代の思い出話などに花を咲かせ、交流ができました。

終了後アンケートにも、次回開催への期待と要望がたくさんありましたので、引き続き会を継続していく予定です。



新島襄 その心の制作

同志社大学創立140周年を記念して、創設者「新島襄」の生涯を辿り、その教育理念を追求すると共に、新島精神がどのように受け継がれているかを描いたドキュメンタリー番組が、この度制作されました。

タイトルは「新島襄 その心」。安中市をはじめ国内のゆかりの地の他に、アーモスト大学等米国ロケも行われました。写真は8月10日の安中教会外観撮影時のものです。暑い中、安中教会の江守牧師や同志社校友会群馬県支部の眞下幹事のご支援のもと、スムーズに撮影することができました。安中ロケにご協力頂きました皆様には、改めて感謝申し上げます。

番組はBS11で、10月24日(土)に放送されました。なお、番組のDVDが製作されておりますので、ご希望の方は、番組のプロデューサーでもある角田幹事宛にご照会ください。群馬県支部に問合せ頂ければご案内します。



同志社校友会群馬県支部親睦ゴルフ

2015年10月13日(火)、「太田双葉カントリークラブ」で、東毛地区の校友を中心に、親睦ゴルフを行いました。

参加者は、川野、宮地、三上、森川、坂井、飯降、真下、三輪、中山の9名でした。少し紅葉が始まった中、晴天に恵まれ楽しいひと時を過ごしました。

優勝は、真下氏(昭46法卒)でした。



平成28年計画案

来年の主な校友会行事です。奮ってご参加下さい。

行事内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	記事
春の集い			○										
ゴルフ					○					○			
ハイキング											○		
旅行						○							
総会・懇親会										○			

群馬県支部「春の集い」の開催について(予告)

2016年3月6日(日) 午後1時から「マリエール高崎」において「春の集い」が開かれます。

初めての校友のご参加、お待ちしております。

是非、参加しましょう！
詳細のご案内は、後日改めて差し上げます。



総会・懇親会出席のお願い

同志社に学んだ校友が、一堂に会し、旧交を温める場です。是非、総会・懇親会にご参加下さるようお願いしています。
2016年10月2日(日) 予定
(マリエール高崎) 予定